

<聖日礼拝> 復活節第5主日

5月10日 10:30~11:30

1 黙 禱

2 賛 美 21-341

3 聖 書 マタイによる福音書 18章 10~14節
(新 P35)

4 説教と祈り 「天の父の御心」 有馬尊義

5 賛 美 21-98

6 各々の祈り

7 主の祈り

(家庭礼拝の例です)

※讃美歌は著作権の関係で録画配信しません。

<今週の聖句> マタイによる福音書 18章 14節

そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。

【次週 (5月17日) の礼拝】

聖書：マタイによる福音書 18章 15~20節
説教：「イエスの名によって」 有馬尊義牧師
讃美歌：21-341、21-543

西荻教会ホームページ URL

<https://www.nishiogi-g-y.com/nc/>



「迷い出た羊」のたとえ話はイエス様が語られたたとえ話の中でも良く知られたものだと思います。マタイによる福音書は、このたとえ話を「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言っておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである」というイエス様のお言葉と結びつけて記しました。

既に先週読みました6節以下に、イエス様を信じる教会の交わりにおける小さな者の一人をつまずかせることへの警告が語られていました。「つまずかせる」とは、信仰の妨げとなって、神様、イエス様を信じ続けることができなくなってしまうということです。人を「つまずかせる」ことの原因は、その人を「受け入れない」ということです。人を受け入れてないことから、その人をつまずかせる、信仰を妨げるということが起こるのです。どうして受け入れないのか。それは自分自身が神様に受け入れられていることを信じていないからです。

先週は深く触れることができませんでしたが、7節に「つまずきは避けられない」とイエス様は言われました。私たちはつまずきをもたらされたら、それを避けることができない、と言われるのです。つまずきに私たちは対処できないのです。避けることもできない。だからこそ、小さい者にも自分にもつまずかせてはいけない、気をつけなさいと言われるのです。しかし、避けられないつまずきに神様を、イエス様を見失ってしまったらどうになってしまうのか。人は再び神様の前から迷い出て失われてしまうのでしょうか。

そのことをイエス様は次に続けたたとえ話の中で語られていきます。神様にとって、失われた一匹の羊の存在はとても大切なものです。その大切な一匹が失われてしまうことを悲しまれます。その一匹を探し回り、神様の群れへと戻ってくることを何よりも喜んで下さるのです。ここに神様のお姿、小さな者への愛が示されています。そのために、まことの羊飼いとして独り子のイエス様が世に来て下さり、見つけ出して、神様のもとに、私たちが本当に生きることができる父なる神様のもとに連れ帰って下さいます。そして神様ご自身がそのことを心から喜んで下さり、私たちが温かく迎え入れて下さる、そういう恵みがたとえ話によって語られています。

明らかに、「迷い出た羊」とは、つまずき、失われようとする「小さな者」のことです。18章は教会のことを教えています。神様の御心をもって歩む教会とはどのような群れなのかを教えています。神様の御心のなる教会において、「小さな者」とは私たちすべての人間のことです。教会において「大きな方」は神様の他に何もありません。そうであるならば、「小さな者」とは、共に教会に集う仲間のことであるし、同時に私自身のことです。イエス様はたとえ話を通して、はっきりと教会の仲間もあなた自身も誰一人として神様は失ってよいとお考えにはなっていないこと、迷い出た一匹を探し求めて諦められないことを教えてくださいました。最も「大きな方」が、「これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」と言われます。

そして、そのためにイエス様を私たちに与えてくださいました。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書 3章 16節)。確かにイエス様は十字架にかかれ、私たちを救いへと招いてくださったのです。私たちはつまずきを与えてしまうことにも、つまずきを与えられた時にも、あつという間にイエス様を見失い、神様の愛を信じることができなくなってしまうのです。本当につまずきに弱い者です。しかし、私たちは見失ってしまっても、悔い改めて帰る道を見つけられなくても、神様が、イエス様が私たちを探し出してくださいます。誰一人神様の前から失われはしないのです。それがここでイエス様が語られる真理です。

変わることを恐れない神様の確かな愛のご決意をイエス様は十字架によってあらわしてくださいました。ご自身を私たちの代わりに死に渡してくださいました。だから、私たちは自分が、神様の愛から失われることを心配しなくていいのです。無邪気なほどに、もっと大胆に言えば、幼い子どものように無神経なほどに私たちは天の父である神様の愛を信じ切っていていいのです。他の人々も同じ神様の愛の中にと信じているのです。

イエス様をお与えくださった神様の愛が、つまずきを超えて私たちを集めてくださいます。そこに教会の群れが生まれ、育つのです。

日本基督教団 西荻教会

週報

2020年5月10日 第3819号



2020年 年間標語聖句

希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。

(ローマの信徒への手紙 12 章 12 節)

【教報】

◆Web会議を用いた礼拝配信

Zoomを用いて日曜日10:30～聖日礼拝のライブ配信を行っています。同時にZoomの画像を共有してYoutubeでもライブ配信をしています。

Zoomをご利用できる方、Youtubeライブをご視聴をご希望の方は牧師までメールアドレスをお知らせください。URLをお届けいただいたメールアドレス宛に送ります。

◆Youtubeの説教動画配信、聖日礼拝の説教要旨はこれまで通りに継続します。

◆礼拝説教のCDを作成し、お届けします。礼拝後の月曜日以降に郵便で発送します。ご希望の方はご遠慮なく牧師までお知らせください。

◆礼拝休止期間の献金について

礼拝休止期間の月定献金、特別献金、席上献金、会堂維持献金等については、下記の銀行口座へお振込みくださるようお願いいたします。また、お振込の際は、教会まで献金内訳をお知らせください。

〔献金振込先口座〕

三菱UFJ銀行 西荻窪支店 (748)

普通 0428737

名義 宗教法人 日本基督教団 西荻教会

【西荻教会連絡先】

電話 03 (3395) 1600

FAX 03 (3395) 1604

役員メーリングリストのメールアドレス
ncyakuin@googlegroups.com

牧師のメールアドレス

taka1970@silver.plala.or.jp

お誕生日、受洗記念日おめでとうございます

受洗記念日を迎える方は

10日 萩原悦子姉

【公 示】

定期教会総会(決算総会)開催のお知らせ

日時/2020年5月24日

但し新型コロナウイルス感染症の感染防止の点から、郵送(ハガキ)による議決権行使とします。

議案/

- (1)2019年度教会活動報告承認の件
- (2)2019年度教会会計決算承認の件
(一般、会堂維持、収益事業等)
- (3)財産管理報告に関する件
- (4)西東京教区総会議員選出の件

西東京教区の諸教会・伝道所・関係団体のために祈りましょう

祈りのカレンダー

小平教会

住所：小平市学園東町1-2-41

【祈りの課題】

- ① 真の福音を踏まえつつ説教が聴衆に届くように。
- ② 一人ひとりが御言葉に生かされて証しの働きが出来るように。
- ③ 幼稚園が主の御業を行えるように。